

◆開催概要

日時：11月9日（水） 18:30～21:00
 場所：西上村地区会館 出席者：検討会メンバー20名

★訂正とお詫び＝第2号（11月1日）★
 みなさまからのご意見・ご提案の欄に「木材港に置かれている木材による二次災害が心配なので対策を考えてほしい。」と記載しましたが表現に誤りがありました。『港湾に置かれている丸太により被害を受けた。対策を考えてほしい。』と訂正しお詫びいたします。

まちづくりの方針について出た主な意見

まちづくりの方針については、2班で意見を出し合った結果、大きく以下の5つの方針に意見の集約、共有が図られました。

『安全・安心』災害に強いまち

- ・安全安心のまちづくり ・津波に強いまち ・宮古警察署は補修して残す ・山田線の早期復旧
- ・丸太野積みのない安全安心のまちづくり
- ・避難路の早期整備、確保 ・逃げる道路を新たに造る ・国道45号と直結する避難路整備
- ・避難所の磯鶏小体育館整備 ・避難ビル ・避難場所と避難所との通信手段の確保
- ・国道の高さに土地を嵩上げ ・水門の自動化、電気が止まっても作動するように

地域の絆を大切にしたい住み良いまち

住み良い環境が整ったまち

- ・あまり遠くに移転しない、住んでいる人の顔がわかるまち ・公営住宅の整備
- ・人々のつながりの強いまち ・今までどおり住み続けられるまち
- ・地価が高くならないように ・買物が便利なまち ・医療施設のあるまち
- ・磯鶏、八木沢地域の山を切り崩して家を失った人の代替地にする
- ・神林部落の神社付近の山林を高台の住宅地として開発したい
- ・早坂山より大谷地の山まで宅地にできるようまちを造る

交通の便利なまち

- ・駅は地区内に必要 ・JR踏み切りの拡幅 ・JRを現在のルートで復旧
- ・線路による分断をなくす ・道路を高く安全なまち
- ・国道45号の嵩上げ、直線化、道の駅、産直

教育、文化施設を活かしたまち

- ・短大2校、高校2校が立地する ・市民会館と公民館を補修し、住民のよりどころに
- ・文化施設などを活かしたまちづくり ・未来の子等が安心して住めるまち
- ・環境と文教が息づく美しい港があるまち

海とふれあえるまち

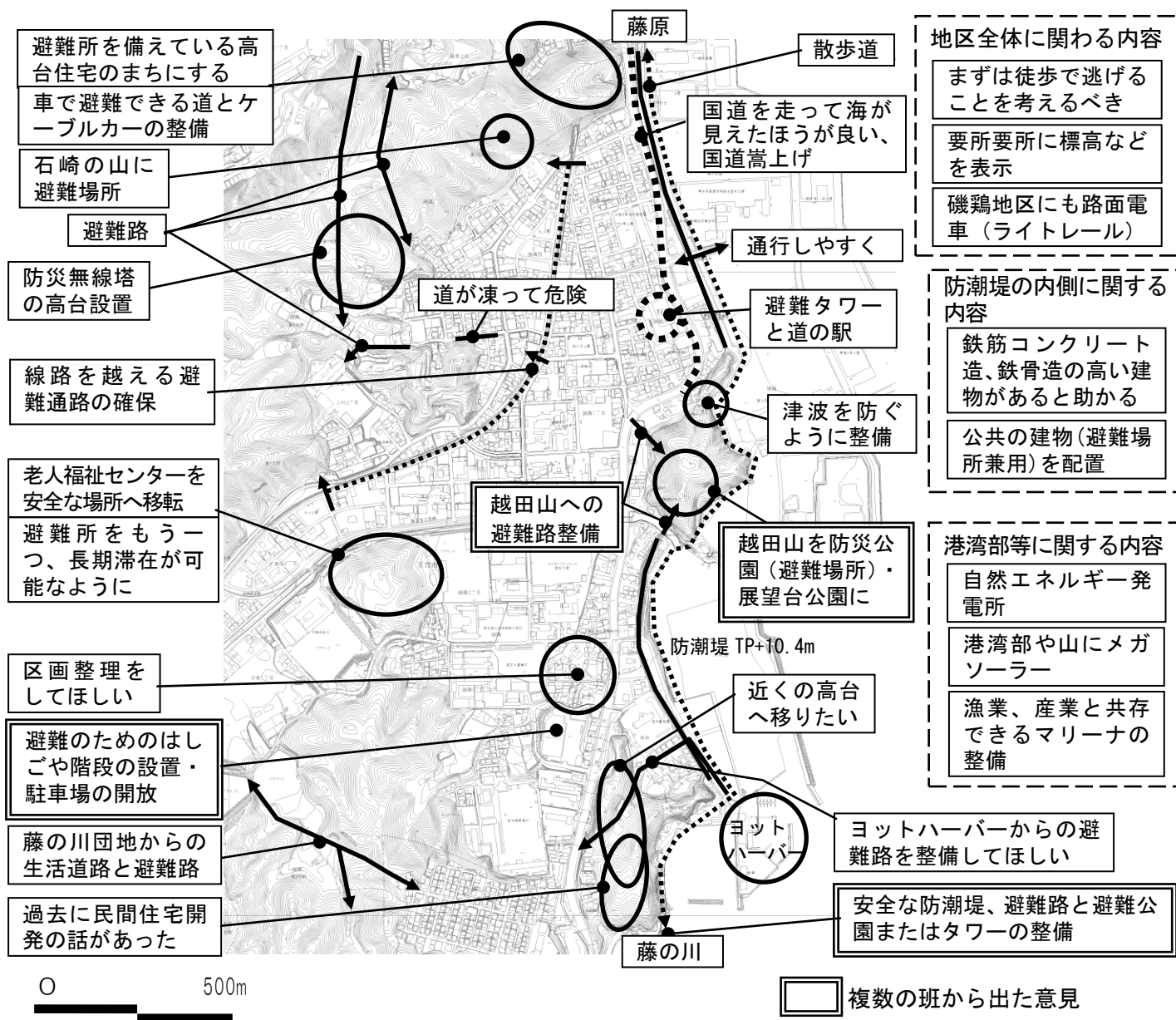
- ・災害に強い、海と共存可能なまち
- ・ヨットハーバーの早期再建 ・ヨットハーバー基地をつくって賑やかにしたい
- ・ヨットを見て生活していたのでハーバーを直してほしい
- ・港湾の整備 ・魚釣客が多い ・ウィンドサーフィンもできる
- ・藤の川の海水浴場を残したい ・海沿いに公園があると嬉しい ・運動公園をつくる
- ・年寄りの健康増進のための散歩道の充実

生活、産業などの都市機能が充実したまち

- ・防災機能を併せ持つウォーターフロントのあるまち
- ・産業、教育、文化が息づく世界に開かれた港があるまち
- ・生活と産業が調和したまち
- ・副都市機能を備えたコンパクトシティ ・市役所を建て、宮古の中心となるまち
- ・自然エネルギーを利用したスマート(エコ)シティ ・核施設は造らせない安全安心のまち

用地別の土地利用の方針について出た主な意見

用地別の土地利用の方針について、2班で意見を出し合った結果、以下の図に示すような意見が挙げられました。特に、安全な避難場所や避難ルートについては2班とも意見がでています。



今回の検討会で共有できた方針

検討会で確認し、共有できた方針を整理すると以下ようになります。これらの方針をもとに、次回以降の検討で議論を深めていきます。

◆地区復興まちづくりの方針について

- ・『安全・安心』災害に強いまち
- ・地域の絆を大切にしたい住み良いまち
- ・教育、文化施設を活かしたまち
- ・海とふれあえるまち
- ・生活、産業などの都市機能が充実したまち

◆土地利用の方針について

- ・安全な避難場所、避難所の確保やそこに逃げる避難路について考える。
- ・高台に住宅地の確保を考える。
- ・防潮堤近くの建物を強固なものにするよう考える。
- ・マリナーや海水浴場、公園、散歩道の整備など海辺の活用を考える。

